

コースコード：RH-DO457

税抜価格：220,000円

日数：4日間

---

## 前提条件

TCP/IP、ルーター、管理対象スイッチの確実な理解を含む、ネットワーク管理の経験  
コマンドラインからのネットワークデバイスの管理に精通していること (Cisco IOS、IOS XR、NX-OS、Juniper JUNOS、Arista EOS、VyOS の1つ以上が望ましい) テキストファイルを操作し、Red Hat Enterprise Linux 環境でコマンドを実行するために必要な、テキストファイルを編集してシェルからコマンドを実行する方法、SSH を使用してリモートシステムにログインする方法など、Linux に関する実践的な知識 Red Hat System Administration I (RH124) と同等またはそれを上回る知識を持っていることが強く推奨されます Ansible に関する事前知識は必要ありません

## 受講対象者

このコースは、Ansible を使用して、組織や企業のネットワーク・インフラストラクチャの管理、デプロイメント、構成管理を自動化する方法を学ぶネットワーク管理者、ネットワーク自動化エンジニア、インフラストラクチャ自動化エンジニアを対象としています。

## コース概要

Red Hat Ansible Automation for Networking  
を使用したネットワーク・インフラストラクチャの構成と管理

Ansible for Network Automation (DO457) は、ネットワークの自動化を使用して、組織のネットワーク・インフラストラクチャ内のスイッチ、ルーター、およびその他のデバイスを一元管理する方法を学ぶネットワーク管理者、またはインフラストラクチャ自動化エンジニアを対象としています。

このコースは Red Hat® Ansible Tower 2.5 および Red Hat® Ansible Engine 3.2 に基づいています。

Red Hat Ansible Automation for Networking を使用して、リモートでネットワークデバイスの構成を自動化し、現在のネットワークの状態をテストおよび検証し、コンプライアンス・チェックを実行して構成のばらつきを検出および修正する方法を習得します。



## 目的

管理システムへの Red Hat Ansible Automation for Networking  
のインストールと設定

Ansible でのアドホックコマンドと Playbook の実行によるタスクの自動化  
ネットワーク自動化のための効果的な Ansible Playbook の作成

ネットワーク・インフラストラクチャの構成とバックアップに関する情報の収集  
ルーターやスイッチ、ポート、VLAN、SNMP モニタリング、ルーティング・プロ  
トコルの設定など、特定のネットワーク管理ユースケースの自動化

さまざまなハードウェアベンダー (Cisco、Juniper、Arista など)  
のデバイスを対象とした Ansible Playbook の使用

## アウトライン

Ansible のデプロイ

Ansible をインストールし、Ansible インベントリーを設定します。

コマンドとプレイの実行

アドホックコマンドを実行し、Ansible Playbook を準備します。

Ansible のパラメーター化

ループと条件でタスクをコントロールします。

Ansible の管理

Ansible Vault で情報を保護し、高度なインベントリーを管理します。

シンプルなネットワーク操作の自動化

Ansible でネットワーク情報を収集し、ネットワークデバイスを設定します。

複雑な操作の自動化

新しい MACD の課題を解決し、実世代の課題を克服します。